

市政を問う！

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。3月定例会の一般質問は、2月23日（水）、24日（木）、25日（金）の3日間に14名の議員が質問しました。（ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。）

代表質問

市長の政治姿勢と道路、農業問題、榎戸駅東口について問う！



誠和会 湯浅 祐徳

市長の政治姿勢について

問 市長の選挙公約の優先順位はどうか伺う。

市長 私の選挙公約の1番目は、健全財政の堅持でした。これにつきましては、平成23年度当初予算編成においても、最優先で取り組んでまいりました。健全財政を堅持しながら、私の公約で掲げました政策につきましては、できるものから新年度予算に反映させたものであります。

児童医療費助成事業の中学校3年生までの拡充は、少子高齢化が進む中で、少子化対策の一環として、子育て家庭への経済的支援を行うため、平成23年4月から実施していきます。

道路整備について

問 富山踏切から大開のお寺まで、拡幅できない場所、ブロック塀が出ている場所があるが、この箇所についてはまだ、話し合いができていないのか伺う。

市長 市道文違1号線道路改良事業については、今年度約20

0メートルの工事をもって事業終了することとなっております。しかし、工事区間の中で、民地どおしの境界が確定できないために用地取得ができなかった箇所があります。今後、境界が確定し、用地の確保ができる状況になりましたら、予算の問題はありますが、単独事業として進めたいと考えています。

農業施策について

問 八街市で現在、遊休農地、畑、田の面積はどのくらいあるのか伺う。

市長 本市の農地面積は、約3千650ヘクタールで、このうち遊休農地の面積については、全体で約330ヘクタールとなっております。この内訳は、畑が230ヘクタール、田が100ヘクタールとなっております。

榎戸駅東口について

問 北村市長は、早速JR千葉支社に話し合いに行ってくださいと聞いていますが、どんな内容だったか伺う。

市長 榎戸駅東口開設については、榎戸駅の東側から駅を利用する市民の方々の利便性向上を図るため、市では、JR千葉支社に対して要望活動を続けているところです。

市としては、東口に改札口を設けることで、榎戸駅利用者の利便性向上、ホーム脇踏切通行者の減少による安全確保を図る方向へ軸足を移し、東口改札口の整備費用についても、一定の負担は考えられるということ

で、これまで話し合いが進められてきたところです。昨年6月に千葉支社長が交代し、新支社長から「榎戸駅への簡易な形の自由通路設置」について発言があったとのことであり、この手法による可能性に現実味が出てきました。また先般、2月15日にJR千葉支社に赴き、支社長と面会したところ

です。今後は、市側の担当者としてJR千葉支社側の担当者間で、詳しい内容について詰めていきます。

市長 榎戸踏切につきましては、ご指摘のとおり、朝夕の通勤時間帯において混雑していることは、認識しているところでございますが、先に前後の道路拡幅をする必要があるため、関係者全員のご協力が得られてからでないとは事業を立ち上げることはできません。

また、踏切拡幅にかかる経費は、全額市の負担となりますので、本市の財政状況からみて、現在実施している路線の改良工事が終了してからでないとは手がけることは、難しい状況にあると考えておりますので、ご理解を願います。

学校教育の充実について

問 学力向上推進員の配置について伺う。

教育長 市内全小学校に配置しております。各学校1名ないし複数が交代で週5日間の勤務となります。学年及び教科ですが、5年生を中心に算数を学級担任と連携を図りながら個別指導や少人数指導を実施しております。